

OXIDE

株式会社オキサイド

2027年2月期 第1四半期

決算補足説明資料

2026年7月14日

東証グロース:6521

豊かな未来を 光の技術で実現する

Copyright: 2026 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

決算補足説明資料に基づいて、ご説明させていただきます。

Agenda

OXIDE

- 01.** 2027年2月期 第1四半期決算
- 02.** 事業別業績 [半導体・ヘルスケア・新領域]
- 03.** トピックス

2027年2月期 第1四半期実績

OXIDE

- 全体として、売上高・営業利益共に堅調なスタートとなりました。
- 営業利益は、概ね予想通りで、前年同期比では大幅な増益となりました。今期は、第1四半期から営業黒字でのスタートとなりました。

(単位:百万円、%)

項目	27年2月期 1Q※1			(参考) 26年2月期 1Q	前年同期比	27年2月期
	予想	実績	予想比			通期予想
売上高	2,251	2,192	▲ 59	1,787	+ 404	9,828
営業利益	181	199	+ 17	▲ 72	+ 271	933
営業利益率	8.0%	9.1%	+1.1%	▲4.0%	+ 13.1%	9.5%
研究開発費	299	254	▲ 44	465	▲ 211	1,042
EBITDA※2	352	364	+ 12	154	+ 210	1,681
EBITDAマージン※3	15.6%	16.6%	+1.0%	8.6%	+ 8.0%	17.1%

※1「27年2月期」は「2026年3月～2027年2月」の会計年度を指します。

※2 EBITDA:営業利益に償却費(減価償却費・のれん償却等を含む)を加えた数値

※3 EBITDAマージン:EBITDA÷売上高

Copyright: 2026 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

2027年2月期の第1四半期実績についてご説明いたします。

今期は、第1四半期から営業黒字でのスタートとなり、売上高・営業利益に堅調な立ち上がりとなりました。

売上高は21億9,200万円となりました。予想対比5,900万円減収、前年同期比4億400万円増収です。

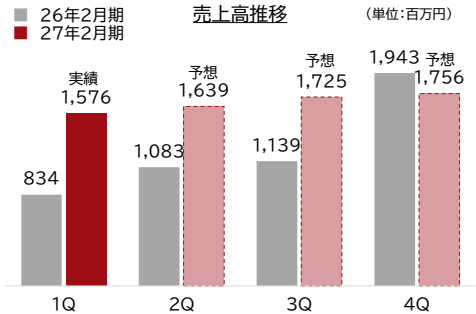
営業利益は1億9,900万円となりました。予想対比1,700万円増益、前年同期比2億7,100万円増益と、前年同期比で大幅な増益となりました。

半導体 | 売上高

OXIDE

- 半導体事業の売上高は15億7,600万円となりました。
- 好調な半導体市場を背景に、当社売上も堅調に推移し、予想対比で2億9,400万円、前年同期比で7億4,100万円の増収となりました。

項目	27年2月期 1Q			(参考) 26年2月期 1Q	前年同期比	27年2月期
	予想	実績	予想比			通期予想
売上高	1,282	1,576	+ 294	834	+ 741	6,402



事業別の業績についてご説明いたします。

まず、半導体事業の売上高は、15億7,600万円となりました。

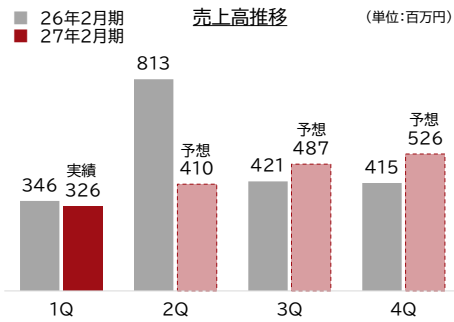
好調な半導体市場を背景に、当社売上も堅調に推移し、予想対比で2億9,400万円、前年同期比で7億4,100万円の増収となりました。

ヘルスケア | 売上高

OXIDE

- ヘルスケア事業の売上高は3億2,600万円となりました。
- 一部出荷分が、第2四半期以降に期ずれとなり、予想対比で1億100万円の減収となりました。
- 原材料の調達環境の変化及び価格高騰を踏まえ、顧客と取引条件について協議を重ねております。

項目	27年2月期 1Q			(参考) 26年2月期 1Q	前年同期比	27年2月期
	予想	実績	予想比			通期予想
売上高	428	326	▲ 101	346	▲ 20	1,851



ヘルスケア事業についてご説明いたします。ヘルスケア事業の売上高は3億2,600万円となりました。一部出荷分が、第2四半期以降に期ずれとなり、予想対比で1億100万円の減収となりました。原材料の調達環境の変化及び価格高騰を踏まえ、顧客と取引条件について協議を重ねております。

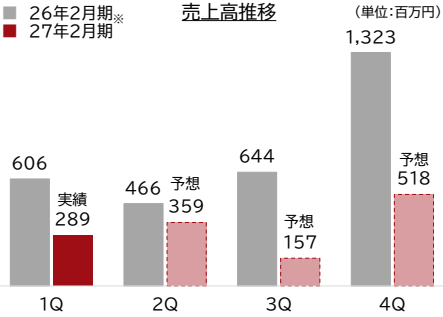
新領域 | 売上高

OXIDE

- 新領域事業の売上高は2億8,900万円となり、予想対比で2億5,100万円の減収となりました。
- データセンター向けファラデー回転子において、一部資材の入荷遅延により、第1四半期に予定していた売上が第2四半期へ期ずれとなりました。

(単位:百万円)

項目	27年2月期 1Q			(参考) 26年2月期 1Q	前年同期比	27年2月期
	予想	実績	予想比			通期予想
売上高	541	289	▲ 251	606	▲ 317	1,575



Copyright: 2026 OXIDE Corporation. All Rights Reserved. ※ 26年2月期は海外子会社含む

新領域事業についてご説明いたします。

新領域事業の売上高は2億8,900万円となり、予想対比で2億5,100万円の減収となりました。

データセンター向けファラデー回転子において、一部資材の入荷遅延により、第1四半期に予定していた売上が第2四半期へ期ずれとなりました。

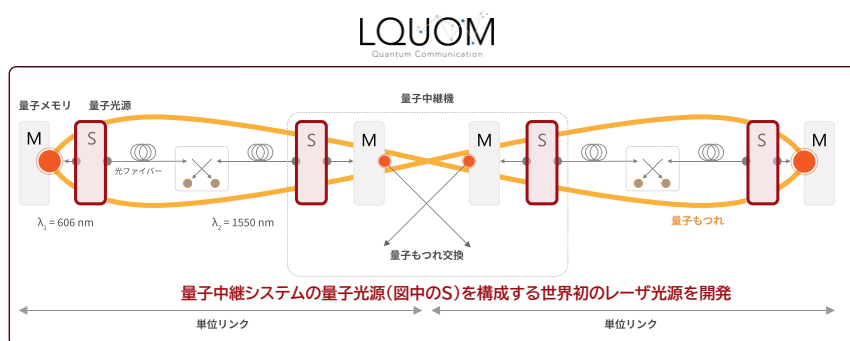
03.トピックス

量子事業の拡大に向け量子通信用レーザの出荷を開始

OXIDE

- 当社は量子通信専用の436 nmレーザを開発し出荷を開始しました。第一号機は量子中継システムの社会実装を目指す横浜国立大学発スタートアップ LQUOM社へ納品いたしました。
- 量子通信は、量子ビットを送る次世代の通信技術として世界的に注目されております。量子中継器は、社会実装に必要な長距離量子通信ネットワークの実現に不可欠な中核技術です。
- 本年3月に販売を開始した量子コンピュータ用レーザに加え、量子通信用レーザを新たに製品化し、量子分野の事業ポートフォリオを拡大してまいります。

量子中継システムの全体図※



OXIDE

当社レーザ



狭線幅CWレーザ(波長:436nm帯)

Copyright: 2026 OXIDE Corporation. All Rights Reserved. ※ LQUOM社Webページ参照 <https://lquom.com/products/>

7

続いて、トピックスをご紹介します。

当社は量子通信専用の436 nmレーザを開発し出荷を開始しました。第一号機は量子中継システムの社会実装を目指す横浜国立大学発スタートアップ LQUOM社へ納品いたしました。

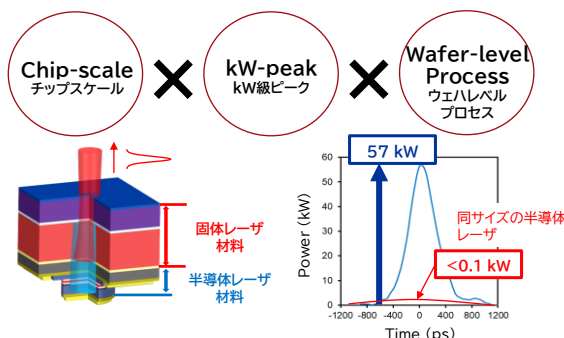
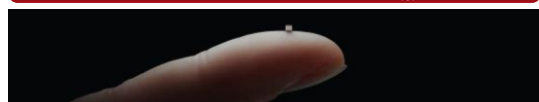
量子通信は、量子ビットを送る次世代の通信技術として世界的に注目されております。量子中継器は、社会実装に必要な長距離量子通信ネットワークの実現に不可欠な中核技術です。

本年3月に販売を開始した量子コンピュータ用レーザに加え、量子通信用レーザを新たに製品化し、量子分野の事業ポートフォリオを拡大してまいります。

ソニー発スタートアップ「SCALE photonics社」の事業成長を支援 **OXIDE**

■ **SCALE photonics**は、ソニーセミコンダクタソリューションズからスピンアウトしたレーザーデバイススタートアップです。半導体レーザ技術と固体レーザ技術を融合し、小型かつ高ピーク出力を実現する次世代レーザデバイスを開発しており、国内外から注目されています。

SCALE photonicsの技術※



ターゲットアプリケーション

産業用途からスマートデバイスまで
幅広い市場に対応



Copyright: 2026 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

※特許取得済み

※Nature Communicationsに論文掲載(Editor's Highlight選出)Nature Commun. 13, 5774(2022).

次に、スタートアップ支援の取り組みをご紹介します。

SCALE photonicsは、ソニーセミコンダクタソリューションズからスピンアウトしたレーザーデバイススタートアップです。

半導体レーザ技術と固体レーザ技術を融合し、小型かつ高ピーク出力を実現する次世代レーザデバイスを開発しております。

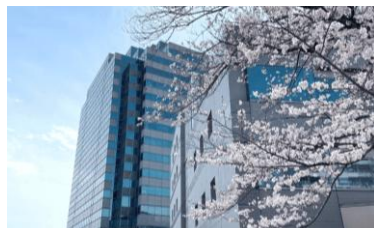
SCALE photonicsの優れた技術は、英科学誌Nature Communicationsにも論文が採択されるなど国内外から高い注目を集めており、産業用途からスマートデバイスまで幅広い市場に対応しています。

ソニー発スタートアップ「SCALE photonics社」の事業成長を支援 **OXIDE**

- 当社は、SCALE photonics社に対し、研究開発環境や試作設備の提供など実務面から事業成長を支援しております。
- 研究開発環境や試作支援の提供に加え、新たな光デバイスの開発に向けた連携を推進しており、両社の強みを融合することで新たな事業創出及び事業化の推進に取り組んでいます。

OXIDE 支援内容

オフィススペース貸与
横浜事業所(YBPサウスタワー)



**装置設置・試作支援／
クリーンルーム設備貸与**
山梨本社工場・YBP研究開発環境の提供



左から当社CTO 藤浦、CEO 古川、
SCALE photonics社 CEO 鎌田氏、COO/CFO 田中氏

展示会での連携
OPIE' 26で製品を展示



当社は、SCALE photonics社の事業成長を支援しております。

当社の支援内容としては、横浜事業所のオフィスやクリーンルーム、山梨本社工場での試作環境の提供に加え、展示会でのプロモーションでも連携しております。

当社自身がディープテックベンチャーの先駆けとして事業化を重ねてきた経験を活かし、実務面から同社の立ち上げを後押ししています。

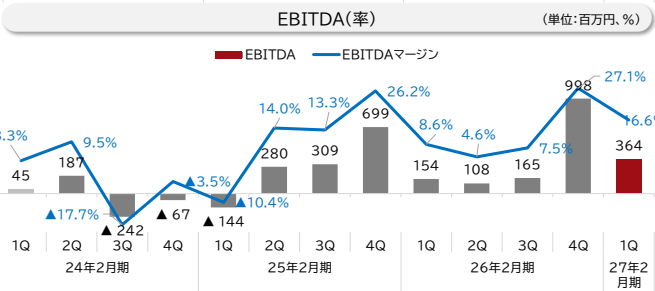
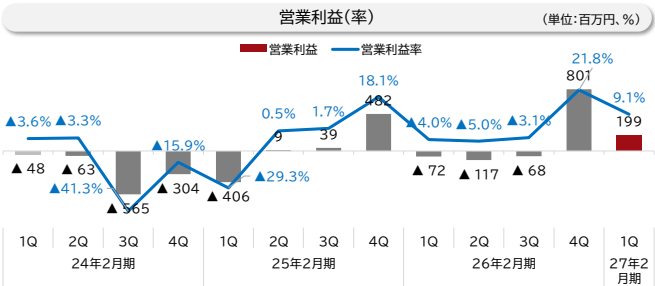
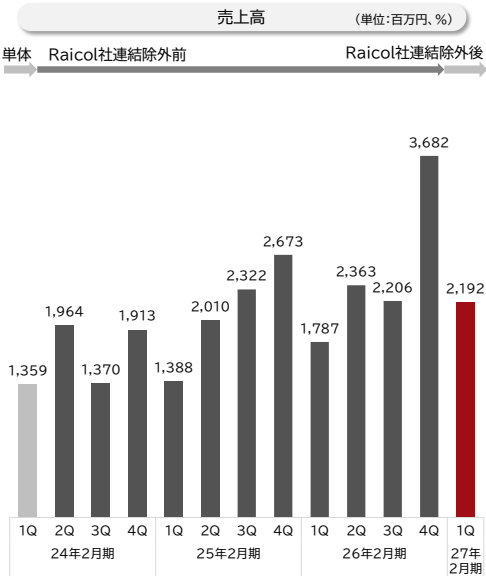
さらに現在は、当社の単結晶技術と同社のレーザ技術を融合し、結晶を起点とした新たな光デバイスの共同開発にも着手しております。

両社の強みを掛け合わせ、次世代の光産業における競争力強化に貢献してまいります。

Appendix

財務トレンド

OXIDE



※2024年2月期第4四半期にて、Raicol社の子会社化に伴うPPAの確定により、取得原価の配分を見直しました。
このため、2024年2月期第2四半期及び第3四半期の数値は、遡及後のものとなっております。

OXIDE

ディスクレーマー

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の想定及び所信に基づく見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありません。

実際の業績に影響を与えるリスクや経済動向、業界需要などの不確定要因を含んでいます。

当社の見込みと実際の業績は異なる場合があります。ご了承ください。

本資料に記載された金額は表示単位未満を切り捨て処理、比率は表示単位未満を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

2024年2月期第4四半期にて、Raicol社の子会社化に伴うPPAの確定により、取得原価の配分を見直しました。このため、2024年2月期第2四半期及び第3四半期の数値は、遡及後のものとなっております。

豊かな未来を光の技術で実現する

<https://www.opt-oxide.com>

Copyright: 2026 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.